

第3回 新発田駅前複合施設基本設計審査会 会議概要

- 1 開催日時 平成25年10月23日(水) 午後1時30分から3時
- 2 場所 新発田市役所 別館 2階会議室
- 3 出席者 11名(委員全13名)

中 渡 憲 彦 委員	前 田 圭 子 委員
吉 田 育 子 委員	三 浦 ユリコ 委員
荒 川 真里子 委員	鈴 木 秋 彦 委員
近 藤 麻衣子 委員	山 口 恵 子 委員
鈴 木 美和子 委員	山 田 恵理子 委員
寺 尾 ちはる 委員	

欠席者 2名

川 本 健太郎 委員
竹 田 和 夫 委員

- 4 傍聴者数 7名
- 5 会議

1 報告事項

- (1) 第2回基本設計審査会概要について
- (2) 第3回基本設計ワークショップについて

2 議事

(1) 主要室配置計画について

設計業務受注業者が、作成した主要室配置計画(案)とワークショップ(5班)で考えた主要室配置計画の報告とまとめの説明を行った。

その後、説明のあった主要室配置計画(案)に対する質疑応答を行った。

質疑応答

委員

駐車場を1階の一部に置くとしているが、そこにしか駐車スペースはないのか。

設計業務受注業者

1階を駐車場(ピロティエ)にして、上階に部屋を配置する。

委員

ワークショップで観光の話が出たが、民間棟に入る予定の観光案内所についての情報提供をする。

観光案内所にはワンストップサービスとして、あらゆる観光情報、宿泊情報、物産情報を発信できるインフォメーションコーナーを置こうということになっている。

電子商取引の「eコマース」も想定しており、お土産などの宅配もできるようになる。また、写真展などもできるイベントスペースも予定している。市の観光や郷土資料等は

図書館に移動して探す必要がない程度は観光案内所には持たせる予定にしている。それ以上の情報を求める場合には、図書館のどこに行けばいいか案内もできる機能をもたせるよう計画しているところである。

委員

キッチンスタジオについて、食育コーナーと連動しているのは非常に良い。新発田市の幼児で取り組んでいる食とみどりの新発田っ子プランというのがある。全ての保育園、幼稚園でもったいないをテーマにして、自分たちで計画し、栽培、食、残さ、堆肥化までを行う。「食」を大事にしている。小学校でもやっている。

0～6歳の免疫力の弱さから、給食の衛生面に気を付けている。本来なら園で収穫したものを食べる体験をさせ、食の大事さを教えていきたいが、O157の関係でできない状況にある。

中央にこのようなキッチンを造ってもらおうと大変助かる。新発田で取り組んでいる非常に大事な部分であり、親子クッキングも重要である。

地域にあるキッチンは大人の高さである。こどもセンターと同じエリアでやるのが非常に良い。

委員

はだしの部屋はどのようなものか。

設計業務受注業者

小さいお子さんが靴を脱いで、床に座ったり、寝転んだりできるコーナーでこどもセンターやお話の部屋ははだしのスペースになると考えている。

委員

キッチンスタジオから図書館側へ匂いは来ないようにしているのか。

設計業務受注業者

匂いの問題は設備の問題になり、換気扇等で対応したい。

委員長

キッチンの件は審議事項になっているので後ほど審議する。その時にお願いします。

委員

先回提案させていただいたハローワークの部分について、部屋とは言わないが、何か対応してもらいたい。

審査

①4階に配置されているティーンズコーナーを中高生の居場所として、1階に移動し、「待合スペース」としての機能を強化する意見について

委員

待合室スペースの機能強化ということであれば、1階にティーンズコーナーはあって良いと思う。学習目的の中高生は4階まで上がってもらえばいい。

委員

4階は電車待ちだとすぐに下りてこられないので、1階でいいのではないか。学習室は静かに勉強したい人が使えばよい。

委員

図書館の問題として考えてもらいたいのが、1階に書架を配置した場合、管理する人員が配置できるのか、セキュリティーの問題、系統配置にして効果があるのかということも踏まえて案を考えてもらいたい。

委員

4階の本はどこで貸し出すのか。

設計業務受注業者

現在の案では4階の本は2階か3階のサービスカウンターで借りてもらうこととしている。

ICタグを検討している。自動貸し出し機だけしかない図書館もある。塩尻は貸出カウンターと自動貸し出し機の併用である。

委員

お酒の飲めるスペースとあるが、飲食できるスペースはあるのか。

設計業務受注業者

基本的にカフェの周囲が飲食できるスペースと考えている。飲食の程度にもよるが、飲食できるスペースを点在させて欲しいという意見もある。

委員

お酒は絶対ダメ、高校生もいる。

委員長

(お酒の件は) 委員会の意見として願います。

1階にティーンズがあった方がよいという意見でよろしいか。

(委員の多数がうなづく)

② 3階に配置されている閉架書庫を4階に配置する意見がある件について

委員

どういう理由で閉架書庫を3階から4階にということになったのか。

設計業務受注業者

ワークショップでは、閉架書庫が大きく面積を取るものなので、3階の一般利用者が使えるスペースが小さくなってしまう。閉架書庫を4階に持っていけば、その分3階が広く使えると考えてのものである。一方、4階は景色がいい、日当たりがいいなどの特徴があるところに蔵のような閉架書庫を持つてくるのはどうかという意見もあった。

我々の設計は、3階と4階ではそれほど環境は変わらないと考えるが、使う方の利便性を考えると3階を広くして、4階に閉架書庫を持つていく方が使い勝手が良いのでは

ないかと考え、変更案を提示した。

委員

次回の提案を見てから、意見を出したい。閉架書庫への動線のこともある。

委員長

閉架書庫を4階にする件は、平面図で検討することとしたい。

③観光案内所との連携を重視し、観光、歴史資料に関するコーナーを1階に設置する意見について

委員

郷土資料は地域の歴史のものであり、最近では地域資料と言われている。郷土資料は今、現図書館にある。これを駅前に全て持って来るということではない。一般図書等は複合施設に置くが、現図書館は歴史書館として歴史書に特化するという構想になっている。古文書等が歴史書館に置かれるが、それを見るための参考資料として郷土資料が必要になる。歴史書の全部を1階に持って来るのではなく、一部を1階に持って来るという考えだと思ってもらいたい。

委員長

郷土資料等の一部を1階に配置するという形で線を引いてもらうことでよろしいか。

委員

(委員多数がうなづく)

④キッチンスタジオの利用対象、利用方法を明確化し、再検討との意見について

委員

利用対象は、一般の主婦はもちろん、駅に近いので高校生、サラリーマン、単身赴任者などが考えられる。今日、新発田市では小学生が一人でお弁当を作れるというものが新聞に出ていた。6年生は郷土料理の小煮物を一人で作れるというのを目標にしてやっている。私も依頼され教えているが、場所がとても不便である。

新発田ガスの2階にキッチンスタジオがあり、料理教室をしているが、夜は満員である。

新発田は食材に恵まれている。アスパラガス、ダッタンそばなどある。新発田は食で売っていかなければならない。食のイベントには非常に人が集まる。キッチンスタジオは半分にする、無くすとかは絶対にいけないと考えている。

委員

いきいき館の子育て講座の中で料理教室を年3回ほど開催している。子どもを預け、おいしいものを作っている。今年の2回は申込み開始からすぐに定員の15組がいっぱいになった。キャンセル待ちが5組も出るほど人気のある取組みで、充実させなければならないと考えている。そのためにもスペース、専門のスタッフと講師の先生が来てい

ただけるものが必要である。

子育ての面からもキッチンが必要である。

委員

小学生が郷土料理を作る出発点は、1人でご飯を炊くことである。これは年長児のプランである。食材に恵まれている新発田で、食文化を伝えていくのは大人の役割である。夜は大人が使い、昼は園児などが使うのであれば、100%使うのではないか。

委員

観光分野からも食の体験ができることで非常にユニークな取り組みができると考えている。市では観光資源の柱の1つとして食資源を挙げており、城下町で育まれてきた和菓子や伝統食がある。観光施設に行き、所蔵品を見るだけでは今の観光客は満足しない。体験観光として、自分の五感を使って、様々な体験をすることで魅力をキャッチする傾向にある。新発田駅が城下町風にリニューアルするが、多くの観光客を新発田駅を窓口にして、市内観光、月岡温泉とつなげていきたいと考えている。その際に、食の体験と歴史がわかる場所があるのは重要である。例えば、和菓子作りをキッチンスタジオで体験し、なぜ新発田にお茶と和菓子の文化があるのか、歴史的な話を聞いてからお城の観光をするとより深く、新発田の歴史と文化を理解いただける。これは非常にユニークな取り組みで全国に発信できるのではないかと考えている。この施設には心から応援している。

委員

昨日のワークショップを傍聴したが、キッチンに反対あるいは心配との意思表示があった方の気持ちを考えるとキッチンスタジオによって図書スペースが十分に確保されないことを心配していると感じる。

先日、日本料理が世界遺産に登録されるニュースがあった。高校ではこれから家庭を形成していくためには、男子は家事力を女子は稼ぐ力をと常に生徒たちに言ってきた。家事力の中心はクッキング力である。このような若い人たちのことを考えると、開架スペースも大事にしながら、ぜひキッチンスタジオの設置を進めてもらいたい。

委員長

図書スペースを侵害しないようにキッチンスタジオは計画してもらいたい。併せて、しっかりとしたキッチンスタジオになるよう計画してもらいたいという意見がありました。それでよろしいか。

委員

(委員多数がうなづく)

⑤その他について

委員

駅前施設に人が集まることは重要だが、その先の駅前商店街やまち中に人が出ていく

仕掛けも準備する必要である。高校生や商店街の意見を聴く機会を検討しているのか。

事務局

高校生はアンケートをする予定としている。大学生等は意見をもらう機会を予定している。商業者との意見交換の場は予定されていない。

委員

お酒を飲める店へ誘導できる仕掛けづくりなど商業者と話し合う場を設けてもらいたい。

事務局

商業者と話し合う場については、検討させてもらう。

委員

親子連れにも配慮した駐車場の計画にしてもらいたい。

委員

閉架書庫を4階に移し、3階の図書の実と意見に書いてある。その辺の配慮をお願いしたい。

委員

市内に9つの子育てサークルが活動している。現在、2つのサークルルームを使っている。サークルルームは1つではなく、複数用意して、広めに使えるようにしてもらいたい。

委員

子育て支援サークルの役割について、我々が子育て支援で1番力を入れているのが、ピアサポートであり、利用者同士でケアしあえる関係を構築し、そこから拡大していく。子育て支援センターを利用する個別の人たちが、サークルの人たちの活動を見て、肌で感じる事ができるところから拡大していく。それが求めている子育て支援の形である。9つあるサークルは15から20人でお子さんも連れてくる。狭いと活動ができない。重要な子育て支援の部分の占めていることを理解してもらいたい。

(2) その他

事務局

次回の審査会の開催について、11月6日(水)午後1時30分から地域交流センター一屋内広場で開催する。資料は来週中に送付する。

午後3時終了